

令和4年度大豆生育定期調査結果 No.2（開花直前期）

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部水田利用研究室・県北農業研究所作物研究室
 (生産基盤研究部：TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081、県北農業研究所：TEL0195-47-1073、FAX0195-49-3011)

I 農業研究センター本部（北上、調査日：7月21日）

1 気象経過（図1）

気温は、6月上旬は平年より低く推移し、6月下旬より7月上旬まで高く推移した。その後は概ね平年並となった。

日照時間は、7月上旬は大きく平年を上回ったが、中旬で平年を下回った。

降水量は、7月第1～第3半旬は平年より少なかったが、第4半旬は平年よりかなり多かった。

※岩手県を含む東北地方梅雨入り：6月15日（平年並で、昨年よりも4日早い）

梅雨明け：7月26日（平年より2日早い）

2 栽培条件

- (1) 調査場所 農業研究センター：北上市成田 標高90m
- (2) 土壌条件 農業研究センター：淡色多湿黒ボク土（水田転換1年目）
- (3) 種子消毒：クルーザーMAXXの塗沫処理
- (4) 播種日、栽植密度及び播種粒数：6月6日、9.52株/m²、2粒播き（出芽後1本立てに間引き・補植）
- (5) 施肥量（基肥） N:4kg/10a、P₂O₅:12kg/10a、K₂O:10kg/10a、堆肥2t/10a
- (6) 中耕培土：7月4日、7月12日、7月21日の3回
- (7) 病害虫防除：トレボン乳剤+プロポーズ顆粒水和剤（7月14日）

3 生育概況（表1）

(1) 生育

6月下旬から7月上旬までの高温・多照の影響により生育は3品種ともかなり旺盛で、平年に比べ、主茎長は17.0～17.8cm長く、茎径は0.59～2.27mm太く、主茎節数は2.8～3.2節多くなっている。

さらに、葉面積指数は平年差+1.367～2.045と高く、地上部乾物重は平年比233～249%と重く、生育は平年を大きく上回っている。

4 生育調査結果

表1 播種45日後（7月21日）の生育調査結果

品種	年次	草丈 (cm)	主茎長 (cm)	茎径 (mm)	主茎節数 (節)	葉面積指数*2 (LAI)	地上部乾物重 (g/m ²)
ナンブシロメ	令和4年	69.9	44.3	3.90	13.0	1.893	105.1
	過去5か年平均*1	44.8	26.5	3.31	9.8	0.526	43.3
	差・比	25.1	17.8	0.59	3.2	1.367	243%
リュウホウ	令和4年	70.2	40.2	7.80	13.0	1.965	112.7
	過去5か年平均	43.7	23.2	5.93	9.9	0.586	48.4
	差・比	26.5	17.0	1.87	3.1	1.379	233%
シュウリュウ	令和4年	70.1	39.6	8.50	12.5	2.700	128.3
	過去5か年平均	44.5	22.2	6.23	9.7	0.655	51.5
	差・比	25.6	17.4	2.27	2.8	2.045	249%

*1：過去5か年はH29年～R3年のデータ。但し、LAIはH30年を除く。

*2：葉面積指数は単位面積あたりの葉の総面積。

5 半旬別気象経過図

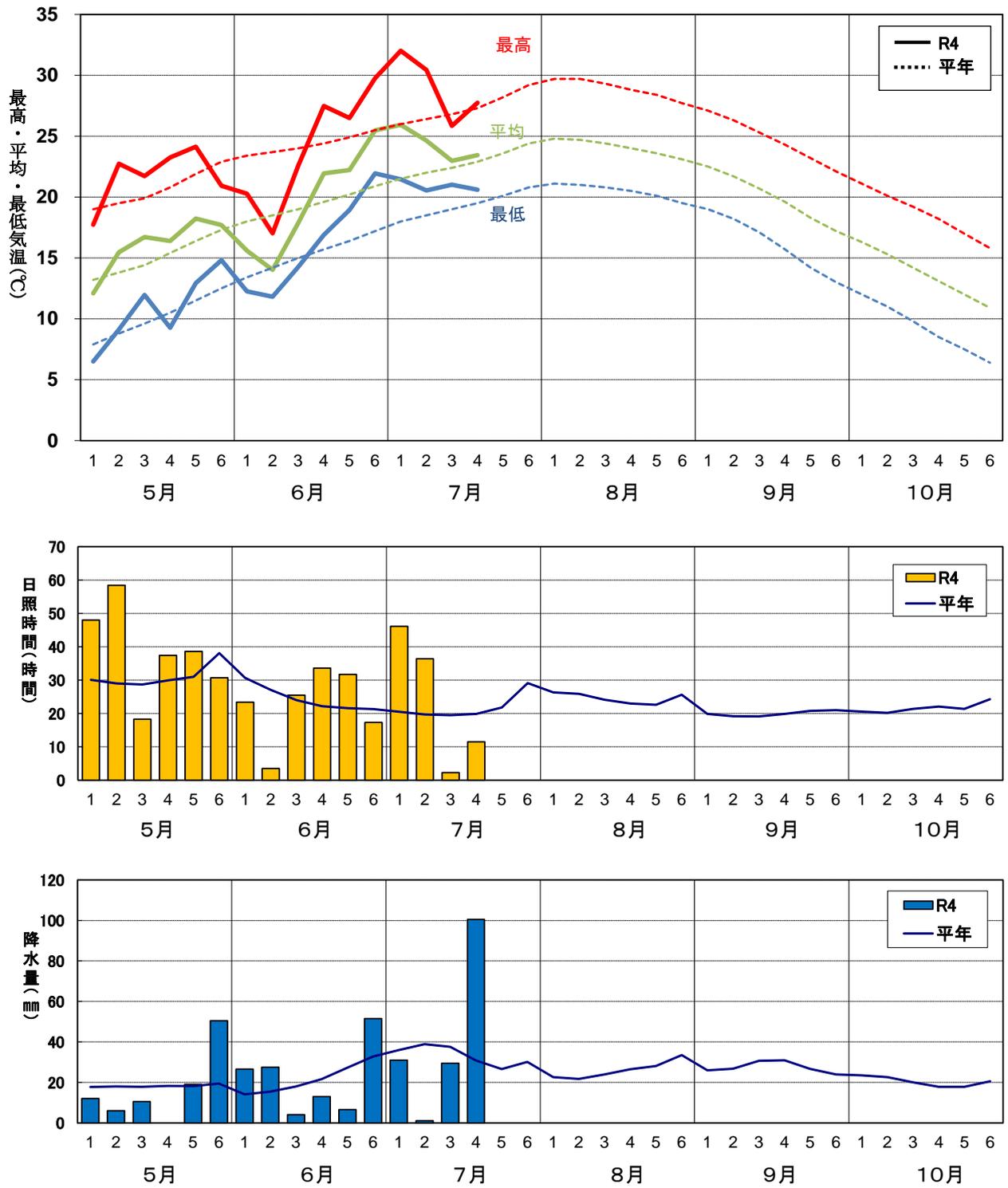


図1 気象経過図 (アメダス北上)

II 県北農業研究所（軽米、調査日：7月20日）

1 気象および生育の概況

- 平均気温は、6月第4半旬過ぎから7月第1半旬にかけて平年よりかなり高かったが、その後は平年並となった。日照時間は、6月第5半旬と7月第1半旬が平年を上回ったが、その他は平年を下回った。降水量は、6月第5半旬は降雨がなく、その後は7月第2半旬まで平年並で推移し、7月第3半旬は少なかったが、7月第4半旬は多かった。
- 主茎長は平年差+6.4～+12.1 cm、主茎節数は平年差+0.2～+0.7 節、分枝数は平年差-0.7～±0.0 本、地上部乾物重は平年比 152～186%となっており、3品種とも分枝数が平年～やや少ないものの生育は平年より良好と考えられる。

※ 東北北部の梅雨入り：6月15日（平年と同じ）
梅雨明け：7月26日（平年より2日早い）



図1 ナンブシロメの生育状況
(7月20日)

表2 大豆の生育状況

品 種	播種年次	出芽に要した日数	6月20日			7月20日			
			主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	地上部乾物重 (g/m ²)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本/株)	地上部乾物重 (g/m ²)
ナンブシロメ	R4	8	7.2	2.0	5.1	51.2	11.3	2.1	146.3
	平年値	8	11.4	4.0	9.0	39.1	10.6	2.1	95.3
	差・比	0	-4.2	-2.0	57%	12.1	0.7	0.0	153%
シュウリュウ	R4	9	6.4	2.2	6.4	40.8	10.7	0.9	211.8
	平年値	9	9.1	3.8	11.8	33.8	10.5	1.6	113.8
	差・比	0	-2.7	-1.6	54%	7.0	0.2	-0.7	186%
リュウホウ	R4	8	6.1	2.0	5.4	39.6	10.6	1.4	166.1
	平年値	8	8.1	3.8	9.4	33.2	10.4	1.7	109.3
	差・比	0	-2.0	-1.8	57%	6.4	0.2	-0.3	152%

注1) 6月20日調査の平年値：ナンブシロメとシュウリュウがR1年とR2年を除くH27～R3の5カ年平均、リュウホウはH28年(作付け無し)とR1年、R2年を除くH26～R3の5カ年平均。R1年とR2年は調査日が異なるため平年値から除外。

注2) 7月20日調査の平年値：直近5カ年平均。

2 耕種概要

播種日：令和4年5月25日

栽植密度：14,286株/10a（畦幅70cm、株間10cm、1株1本仕立て）

施肥量（kg/10a）：N 3.0-P205 9.0-K20 7.5

堆肥：おがくず牛ふん堆肥 2,000kg

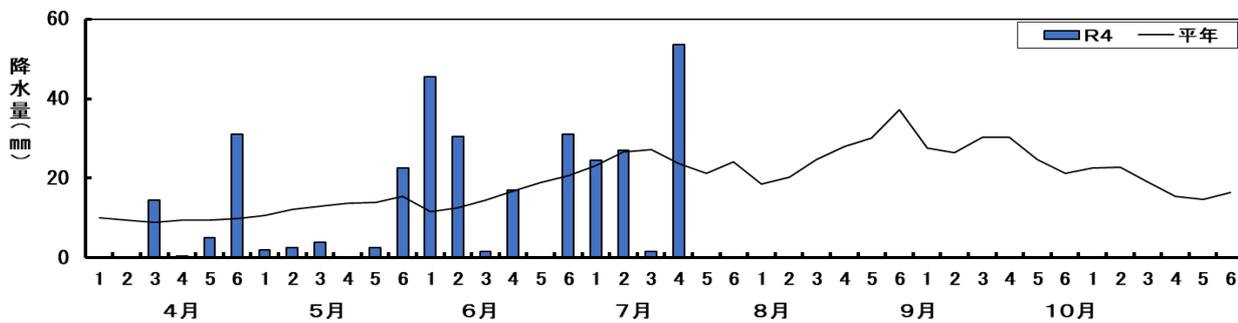
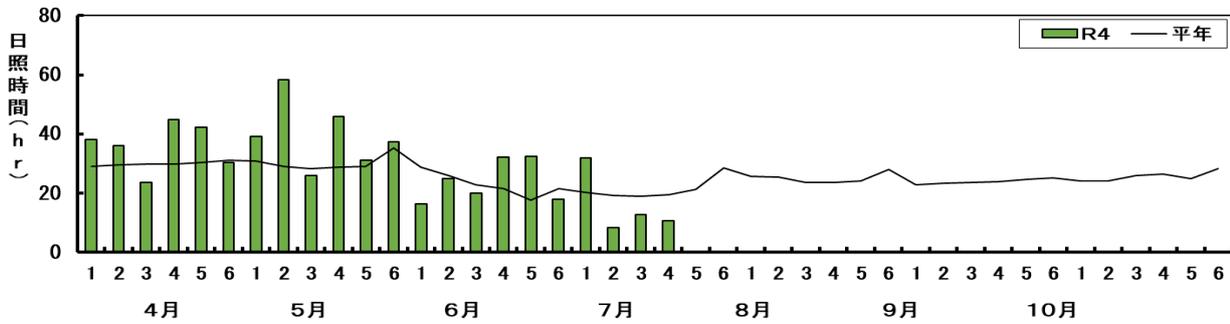
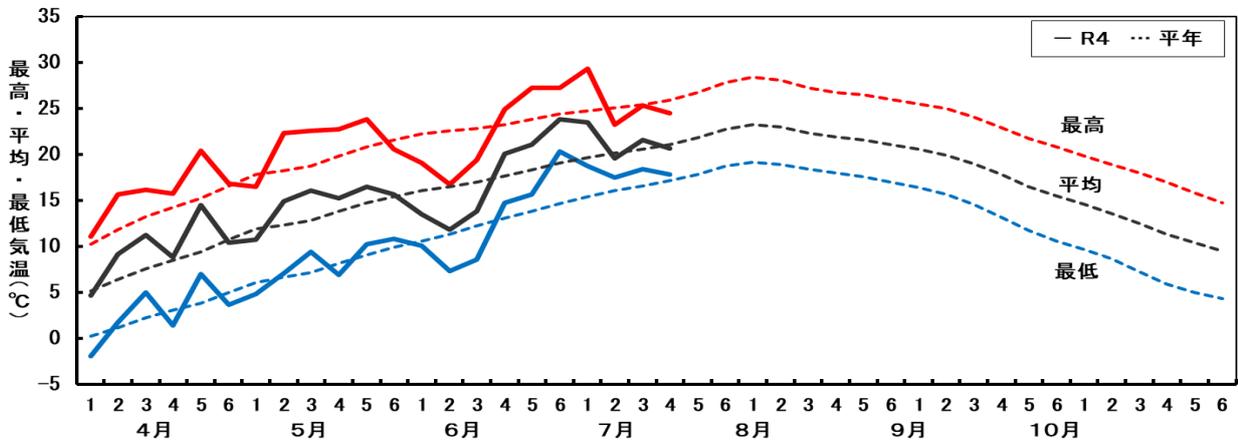
雑草防除：プロールプラス乳剤 薬液600mL/10a、希釈水量150L/10a（播種翌日に散布）

病虫害防除：クルーザーMAXX 8ml/種子1kg（播種前、乾燥種子に塗沫処理）

トレボン乳剤 1,000倍（7月4日）

中耕・培土：7月4・5日

令和4年 県北農業研究所における半旬別気象経過図 (7月第4半旬まで)



注1 気温及び日照時間は県北農業研究所気象観測値、降水量はアメダス(軽米)観測値
 注2 気温及び日照時間の平年値はH9~R3年の平均値、降水量はアメダス(軽米)平年値